



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2022.3.23 No.50

第2回定期委員会 開催！

(委員からの主な発言)

- ・ 駅の泊り勤務が今後、減少して今までできていた仕事ができなくなり、超勤が増加するのではないかと？
- ・ 様々な駅で信号扱いを行うことで誤扱いのリスクが高くなる可能性がある。
- ・ 企画業務を優先するあまり、本来業務が疎かになっている現状がある。
- ・ 乗務員携帯時刻表アプリに本来表示されるべき速度制限が反映されていなかった。
- ・ それに対して会社から謝罪が無い。
- ・ 支部と運輸区分会で議論する場があまりなかったが、今後はこうした連携が必要だと考えている。
- ・ 見習乗務員を育成する際、本来乗るべき特殊な取扱行路があるのに乗らずに説明だけ行って、一本にさせている現状があり、見習いの育成環境がきちんと整っていない。
- ・ ポケット時刻表の配布が取りやめになっており、会社のコスト削減のやり方が間違っている。

委員会宣言(案)

私たち、JR東日本輸送サービス労働組合山梨支部は本日、山梨県立図書館において、第2回定期委員会を開催し、不当労働行為根絶、安全で安心して「働きがい」ある職場をつくることを全ての仲間とともに確認した。

新型コロナウイルスの脅威は依然として続いている。2022年1月頃から「オミクロン株」によって、今までは桁違いの感染者数が日本国内で発生しており、山梨県内でも感染者が1日400人を超える日も出ている。感染拡大により各職場では社員の感染も相次いでおり、私たちはいつ感染してもおかしくない状況だということを改めなければならないとともに「エッセンシャルワーカー」としての責務を果たしていこう。

会社は昨年、定期昇給の昇給係数を2と回答した。更に夏季手当、期末手当をそれぞれ2.0ヶ月と回答した。賃金が減少している中で原油や食料品といった生活必需品の物価が上昇している。更にコロナ禍でマスクやアルコール消毒液などの感染対策用品の購入が加わり、支払わなければならない費用は日に日に増している。消費者庁が2022年3月16日に公表したデータによると、1年後の物価上昇率は2.67%とのことである。もはや私たちの生活は限界であり、減少した賃金を補うため、「一律4,000円ペア」、「定期昇給 昇給係数4の実施」、「特別昇給の実施」の完全実現を会社に要求してきた。3月17日、会社から「定期昇給 昇給係数4の実施」と「ペアゼロ」の回答が出された。ペアはゼロだったものの職場からつくりだした一垣根運動に基づき、会社の物差だけで定期昇給に歯止めをかけることができたことを確認し妥結へと判断した。しかし、これでもまだ終わらない。昨年取られた分の定期昇給を取り戻すまで私たちは最後までたたかていく。

一人ひとりが抱える業務の負担は増し続けている。「新たなジョブローテーション施策」により、本人希望を無視した異動が会社の権力によって行われ続け、社員のモチベーションが低下してきている。営業職場では「営業統括センター」が施行されたが、会社はサービス推進委員会やMy Projectの各種委員会のやり方をどのように行っていくのかを先に考え、本来先に考えなければならない通常業務の運用方法については後回しになっている状態だ。会社の準備は明らかに不足しており、見切り発車と言わざるを得ない。その日によって勤務する場所が変わり、制服を持参しなければならないことや各駅の販売機器や帳票の細かい取扱いや保管が異なっていることから不十分な教育体制により取扱い誤りのリスクが高まるなど社員の負担は明らかだ。営業統括センターにおける問題点を1年かけて検証を行い、洗い出した問題点を改善することをこれから目指していく。そのために私たち一人ひとりが担うべき仕事は何かを今一度見つめ直していこう。

輸送サービス労組に対する不当労働行為や組合差別は後を絶たない。今でも職場ではこのような会社による不当介入が止まらない。私たちの結成時の原点を忘れることなく、不当労働行為や組合差別、企業犯罪を許さず労使関係を是正するためにたたかていく。2021年9月16日東京都労働委員会から「ジェイアールバス関東不当労働行為事件」に対する完全救済命令が出された。これは行政が会社に対して断罪したということになる。このたたかいかから、「脱退パワハラ訴訟」や「八王子駅パンフレット配布事件」の勝利を目指すとともにこれらを通じて不当労働行為や組合差別を根絶しよう。

「人間関係が薄れやすい」コロナ禍で様々な集まる場所を通じて「横のつながり」を大切に、全ての仲間とともに結集して、明るい未来を創造するために組織強化・拡大をしていこうではないか！

以上宣言する。

2022年3月23日
JR東日本輸送サービス労働組合
八王子地方本部 山梨支部
第2回 定期委員会

各系統で奮闘する仲間とともに連携して、

「横のつながり」を強化しよう！

